

地域の安心を第一に考えた病院づくりを目指しています。

当院理念

1. 地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い、専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

地鎮祭

地鎮祭とは、建物を建てる際に工事の無事や安全と、建物や家の繁栄を祈る儀式のことです。神主さんが祝詞をあげ、最初の鍬や斧を入れて工事の安全を祈ります。

9月19日(水)、当院の増改築を祝して、大安吉日の日に厳かに“地鎮祭”が行われました。その日は朝から曇り空で、始まる前には雨が降ってきて、その後どしゃ降りに近い雨となりましたが、終わる頃には雨も小降りになり午後には晴れてきて「雨降って地固まる」ということわざの通りの空模様となりました。

長期間の工事が無事に終わり、新しい病院が完成することを祈念しております。



地域医療連携室

相談受付時間：午前9時から午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。
 地域連携/他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。
 医療相談/経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でのご相談でも構いません。

※日曜・祝日は休診いたします。

外来診療時間	[平日] 午前9時～午後6時
	[土曜] 午前9時～12時30分(整形外来は午前9時～12時です)

		月	火	水	木	金	土
外来診療	午前	院長	院長	院長	院長	院長	交代制
		北川	平池	山本	平池	北川	小関(隔週)
	山本	佐々木	豊田	佐々木	豊田	整形外科	
			小関				
午後	平池	北川	北川	山本	平池		
	佐々木	豊田	佐々木	豊田	山本		



医療法人社団
土田病院
 TSUCHIDA HOSPITAL
 札幌市1次・2次救急指定病院
TEL 011-531-7013
 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
<http://www.tsuchida.or.jp>



診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科
 内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病室/35床(全室個室)、医療療養病床/99床

第23号 平成24年11月1日発行/発行元 医療法人社団 土田病院/編集 土田病院 広報委員会/次回発行予定平成25年1月10日

土田病院ニュース

23 2012年11月発行

みんなの輪と和を

輪



診療部長 佐々木寿誉



今年の札幌は例年になく厳しい残暑に見舞われ、そうかと思えば10月の半ば過ぎから一気に冷え込み、急激な気温の変化についていけず体調を崩されて当院を受診される方も例年より多いように思われます。地球温暖化の影響か近年日本各地で異常気象(スコールを思わせるゲリラ豪雨や熱帯夜、竜巻の被害など)の報告が数多くなされていますが、私が学生時代に習った「日本は温帯性気候に属する」という常識もそのうち完全に時代遅れになってしまうかもしれません。

実は医学の世界においてもほんの数年前までは当たり前常識と思われていたことが、新たな知識や技術の進歩によって完全に時代遅れのものになってしまうということが数多く見受けられます。ほんの十数年前までは「けがや術後の傷口は濡らしてはいけない、毎日消毒する」というのが外科医の常識でしたが、実は消毒薬を使用することで逆に傷の治りが遅くなる場合があることが判明し、現在では消毒薬を使用する頻度は以前に比べて非常に少なくなるとともに、傷も自宅の水道水でどんどん洗うように指導することが多くなりました。「手術を受けると大きなキズあとが残るのは当たり前」という常識も、腹腔鏡下手術の台頭によってキズはどんどん小さくなり、当院でも胆石の手術等で採用している『単孔式腹腔鏡下手術』では臍から手術器具を挿入するため術後のキズはほとんど残らなくなっています。また先ほどノーベル医学生理学賞を受賞されました京都大学山中教授のiPS細胞(人工多能性幹細胞)の研究が今後発展していくと、将来的には全ての臓器が人工的に作れるようになり、壊れた器械の部品を取り替えるように悪くなった腎臓や肝臓などの臓器を取り替えられる時代が到来するかもしれません。もしそうなったら現在行われている治療法の大半は完全に時代の遺物と化してしまうことでしょう。

日進月歩の医学界に向けて常にアンテナを張り、新しい知見を取り入れる努力を怠らず、今の段階で常識と思われている治療法に対しても検証を重ねて行きながら、ひいては患者さんの健康・幸福に少しでも寄与できるよう日々の診療に邁進していく所存です。どうかこれからも宜しくお願いいたします。

第4回西十勝胃瘻と栄養講演会にて、 当院の土田茂院長が特別講演いたしました。

9月26日に十勝清水にて開催された「第4回西十勝胃瘻と栄養講演会」にて、
当院の土田茂院長が特別講演いたしました。

院長談話

「9月26日に十勝清水にて開催された、第4回西十勝胃瘻と栄養講演会の特別講演を担当させて頂きました。PTEG(経皮経食道胃管挿入術)の解説と経管栄養の倫理についてお話をしました。昨年より保険再適応となったPTEGはまだ認知度が低い現状ですが、これを導入することで救われる患者さんも多いので、正しい知識を理解してもらうことが大切と考えています。また昨今はPEG=延命治療という報道があり、誤解を受けている方も多く見受けられます。PEGもPTEGも患者さんの利益となる栄養法として開発されています。まずは正しい情報を理解頂き、その上で患者さんの利益を第一に、様々な治療法から最適の方法をご家族と一緒に決定していくプロセスが大切であるというお話をさせて頂きました。

仕事後にも関わらず、多くの医療関係者にご参加を頂きました。当地での継続学習の熱気が伝わり、とても素晴らしく思いました。座長である清水赤十字病院消化器科部長の藤城先生をはじめ、多くの方にお世話になり感謝しております。ありがとうございました。」



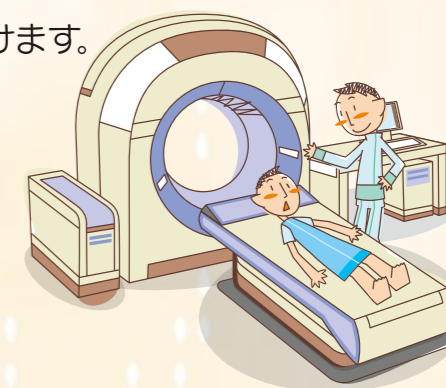
X線CT診断装置を更新しました

当院では、最新のマルチスライスCTスキャナを設置しております。

この検査では、患者様が寝台に横になるだけで、苦痛なく頭部や胸部・腹部の断層像(輪切り)が鮮明に撮れます。

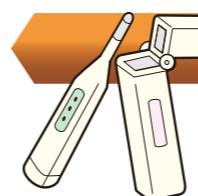
特に、らせん状に連続してデータを収集するヘリカルスキャンは、以前の装置より広範囲の検査が詳細に短時間で行え、ほぼ全身の診断が可能となりました。

また「被ばく低減再構成」を搭載し、被ばく線量が**最大75%まで低減**されましたので、患者様は不安を感じる事なく検査を受けていただけます。



特定健診・メタボ健診 各種健診受付中!

当院では、特定健診やメタボ健診、肺癌検診を専門医が直接おこなっております。また、各種検診についても専門医が責任を持って、随時おこなっております。ぜひ、ご相談ください。



専門外来

いずれも、保険適応となりますので、お気軽にご相談ください。

PEG・PTEG(胃ろう)外来
木曜日の午後

消化器(肝臓)専門外来
毎週水曜日の午前(9:00~12:00)